

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり15.9人と、3週連続で減少し、ピーク時の半数以下まで減少していますが、まだ注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えており、多い状態が続いています。

年末年始は学校や仕事は休みになりますが、帰省や初詣などで混雑する場所へ出かけることが多く、感染機会が増えると考えられます。引き続き体調管理に注意とともに、手洗い・うがいや混み合った場所でのマスクの着用など感染予防対策を徹底しましょう。

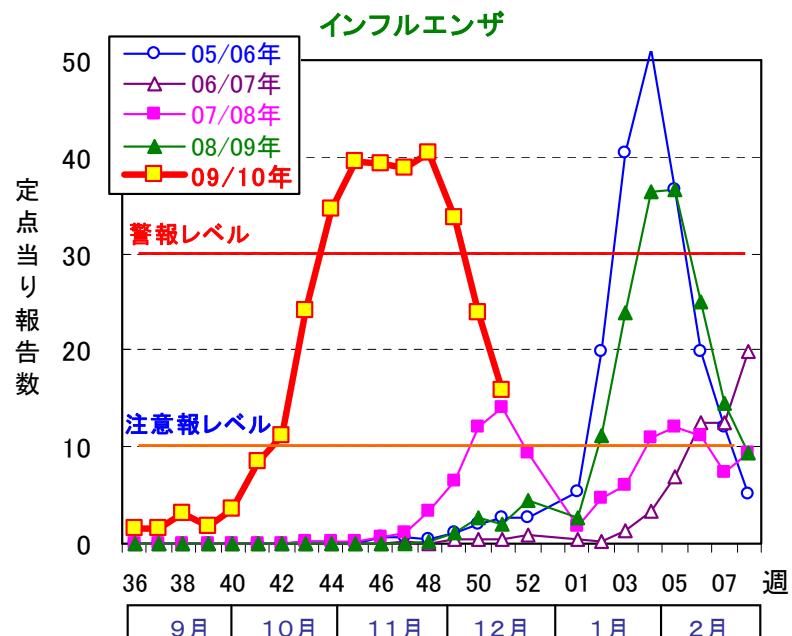
2. RSウイルス感染症

定点当たり2.04人と、5週連続で増加しています。広島市衛生研究所におけるRSウイルスの検出数および迅速診断キットによるRSウイルス検出数(基幹病院2か所)も増加傾向となっています。

最も流行する時期を迎えており注意が必要です。

3 感染性胃腸炎

3. 感染性胃腸炎
定点当たり8.17人とやや増加しています。なお、広島市衛生研究所の検査では、12月に入ってから感染性胃腸炎の患者からノロウイルスが検出され始めています。



広島市衛生研究所の検査結果では、第51週は23人からインフルエンザウイルスが検出され、すべて新型インフルエンザウイルスでした。検出状況等の詳細は以下のホームページを参照してください。

http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/kan_center/rinzi/inf/inf_rinzi_gr.htm

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 （5 年間）	発 生 記 号	疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 （5 年間）	発 生 記 号
インフルエンザ	587	15.86	3.85	△	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	6	0.25	0.46		流行性耳下腺炎	25	1.04	1.24	□
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	18	0.75	1.63	□	RSウイルス 感染症	49	2.04	1.51	△
感染性胃腸炎	196	8.17	19.02	△	急性出血性 結膜炎	-	-	-	
水痘	37	1.54	3.12	△	流行性角結膜炎	4	0.50	0.58	
手足口病	4	0.17	0.28		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	1	0.04	0.13		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	17	0.71	0.70		マイコプラズマ 肺炎	-	-	0.57	
百日咳	9	0.38	0.09		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	



報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定員当り)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	A群溶血性咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス	感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第47週	1,437	6	18	59	26	16	—	16	5	2	19	12	1	5	—	—	3	—
		第48週	1,498	6	20	65	35	13	1	21	6	—	27	24	—	7	—	—	—	—
		第49週	1,250	1	13	99	45	3	1	19	8	—	22	30	—	7	2	—	1	—
		第50週	882	10	22	154	41	4	1	13	5	—	28	39	—	8	1	—	2	—
		第51週	587	6	18	196	37	4	1	17	9	—	25	49	—	4	—	—	—	—
定点当り	広島市	第47週	38.84	0.25	0.75	2.46	1.08	0.67	—	0.67	0.21	0.08	0.79	0.50	0.13	0.63	—	—	0.43	—
		第48週	40.49	0.25	0.83	2.71	1.46	0.54	0.04	0.88	0.25	—	1.13	1.00	—	0.88	—	—	—	—
		第49週	33.78	0.04	0.54	4.13	1.88	0.13	0.04	0.79	0.33	—	0.92	1.25	—	0.88	0.29	—	0.14	—
		第50週	23.84	0.42	0.92	6.42	1.71	0.17	0.04	0.54	0.21	—	1.17	1.63	—	1.00	0.14	—	0.29	—
		第51週	15.86	0.25	0.75	8.17	1.54	0.17	0.04	0.71	0.38	—	1.04	2.04	—	0.50	—	—	—	—
全国		第49週	31.82	0.13	0.98	3.90	1.34	0.23	0.07	0.52	0.02	0.06	0.75	0.60	0.01	0.39	0.02	0.01	0.33	0.02
		第50週	27.39	0.13	1.06	4.79	1.33	0.25	0.08	0.52	0.03	0.06	0.74	0.78	0.01	0.37	0.02	0.02	0.33	0.03

■新たに判明した病原体検出状況(新型インフルエンザを除く)

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	3	女	2009/12/12	鼻汁(拭い液)	RSウイルス
インフルエンザ	2	男	2009/12/08	咽頭拭い液	RSウイルス
感染性胃腸炎	1	男	2009/11/05	糞便	アデノウイルス41型
感染性胃腸炎	1	女	2009/10/19	糞便	コクサッキーウイルスB2型
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	女	2009/11/08	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	女	2009/11/10	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	女	2009/11/08	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	0	女	2009/11/10	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
その他の呼吸器疾患(肺炎/間質性肺炎)	0	女	2009/12/11	鼻汁(拭い液)	RSウイルス
その他の消化器疾患(腸重積症)	1	女	2009/11/03	糞便	エコーウイルス11型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

第51週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	3	2	6	4	3	1			19
入院サーベイランス	4								4
その他									
合計	7	2	6	4	3	1			23

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	89	124	36	18	9	4	3	4	287
入院サーベイランス	27	10	1	3	1	1	1		44
その他	4	5	3						12
合計	120	139	40	21	10	5	4	4	343

・すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。

・病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。

・入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
・病原体サーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp